



小梅

平成29年6月30日
墨田区立小梅小学校
校長 荒井 令子

教育目標 ○思いやりのある子 ○深く考える子 ○たくましい子

シンギュラリティまで、あと……。

副校長 浅野 努

先日、NHKスペシャル『人工知能 天使か悪魔か 2017』というTV番組を観ました。日曜日夜の放送だったので、御覧になった方も多いのではないのでしょうか？

番組では、今年の春に行われた将棋界の最高位〈名人〉と人工知能（AI）が激突する電王選二番勝負の様子が取り上げられていました。人類代表の佐藤天彦名人が、人工知能（名称：ポナンザ）に完敗する姿を見て衝撃を受けました。ポナンザが飛躍的に強くなったのは、人間の手を借りずに人工知能が自分自身で学ぶ「機械学習」という方法を導入してからだそうです。ポナンザは、過去20年分のプロ棋士の対戦5万局を読み込んで「教師データ」として学習するだけでなく、ポナンザ同士の対戦700万局により「創造性」をも獲得し、定跡では考えられない指し方で佐藤名人を圧倒し、勝利しました。番組の中でポナンザの開発者が、「怖いというか、困っている。なんで強くなっているのか、分からなくなりつつある。」と語っていたのが印象的でした。

現在、GoogleでAI開発を行っている人工知能研究の世界的権威・カーツワイル博士は、今から28年後の2045年には、1台1000ドル程度のコンピュータの処理速度が、全人類の知能レベルを超える〈シンギュラリティ（技術的特異点）〉が訪れると予測しています。

◆シンギュラリティ（技術的特異点）◆

2045年には人工知能が新しい人工知能を生み出すようになり、もはや人間には未来予測ができなくなるほどのスピードで社会が変革していく。

出典：神野元基著『人工知能時代を生き抜く子どもの育て方』（ディスカヴァー・トゥエンティワン）

人工知能が新しい人工知能を生み出す世界——SF映画『ターミネーター』や『マトリックス』のような時代がやって来るのかもしれないと思うと、少しドキドキします。ちなみに、一緒に番組を観ていた息子からすれば、シンギュラリティが訪れるかもしれない近未来は「不思議でも何でもない。」そうです。事実、彼のアルバイト先である学習塾ではAIが判断し、講師の手元にあるタブレット型端末の画面に、〈生徒AはB問題のC部分で苦戦中〉〈生徒Dが3分間サボっている〉などの情報をリアルタイムで表示してくれるとのこと。スマホを難なく使いこなしている今の子供たちは、生まれたときから様々なAIと一緒に過ごしているのだな～、ということを実感しました。

オックスフォード大学のオズボーン准教授が、現在アメリカにある職業の約47%が今後10～20年の間にAIの進化によりコンピュータに取って代わられると予測したのは記憶に新しいところです。シンギュラリティが訪れるであろう28年後、今の6年生は40歳です。働き盛りのまさにその時、求められる仕事の内容やスキルは今とは大きく変わっているはずで、そう考えると〈プログラミング教育〉が新しい学習指導要領で導入されることの意味も少し見えてきます。

もうすぐ夏休みがやってきます。いつもより親子で過ごす時間が増えるのではないのでしょうか。AIやシンギュラリティの話は難しいにせよ、将来就きたい仕事や叶えたい夢など、お子様とじっくり語り合ってみるのも面白いかもしれません。



7月の生活目標 身の回りの整理整頓をしよう

生活指導部 山口 勝代

もうすぐ楽しい夏休みが始まります。その前に自分の持ち物を整理して気持ちよく夏休みをむかえたいものです。夏休みに使わないものは持ち帰りますので、記名や補充をして9月からしっかりと学習できるように準備をお願いします。

道徳授業地区公開講座 「心で感じて みんなで歌おう」

道徳推進教師 市川 恵理子

6月3日(土)の道徳授業地区公開講座の講師として、高校生のシンガーソングライター佐藤ひらりさんをお招きしました。ひらりさんは、新潟県三条市生まれで、視神経低形成により、生まれつき全盲です。5歳の時、ピアノに目覚め、2013年には、ニューヨーク・アポロシアターにてアマチュア・ナイトに挑戦し、ウィークリーチャンピオン獲得しています。

講演会が始まり、体育館にひらりさんの美しい歌声が響くと、会場にいる全ての人が一瞬にして心を打たれました。中には、涙する人も・・・この日、ひらりさんが歌ってくださった曲は新曲「Everyday」を含め、全部で6曲。歌声、ピアノ演奏、歌詞、トーク・・・全てにおいて人を引きつけるひらりさんの魅力がたくさん詰まっていました。

子供たちに、そして私たち大人に「夢をもつ大切さ、人はみんなとみんな違ってみんないい、だれも排除されない世界をつくりましょう!」と熱いメッセージをいただきました。

まだまだ、歌を聴きたい!というリクエストがあがるほど、心温まる素敵な時間となったようです。



セーフティ教室

生活指導部 川村 準

6月17日(土)に、セーフ教室が開かれました。本所警察署と警視庁の方から、不審者対応について教えていただきました。腹話術を生かしたお話で、子供たちは楽しみながら学んでいました。私も初めて見ましたが、普通に話を聞くより、集中して聞いていました。

「(知らない人について) 行かない」「(知らない人の車に) 乗らない」「大声でさけぶ」「すぐ逃げる」「知らせる」の頭文字を取った「いかのおすし」を守ることの大切さ、知らない人と話をするときの距離などを学び、最後に代表児童によるロールプレイが行われました。不審者役の警察の方に話しかけられたら、大声でさけび、すぐに逃げることを実践してほしかったのですが、大声でさけぶことができませんでした。とっさに大声を出すということが、児童にとっては思いの外、難しいようです。

もう少しで夏休みに入ります。不審者による被害から自分の身を守るよう、今回のセーフティ教室で学んだことを生かせるよう、学校でも指導していきます。



◆夏季休業中の施設工事について◆

子供たちにとってより快適で安全な施設とするため、夏季休業中に様々な改修工事が行われます。詳細は後日お知らせします。御理解・御協力のほどよろしくをお願いします。

○校庭改修 (一部凹み部分)

○ジャングラミン撤去 (うんてい、登り棒設置)

○防煙シャッター改修 (第一階段)

○昇降口改修 (第一昇降口、第二昇降口)

各学年 6月の様子

1年生

出前授業で多言語を学びながらゲームをしました！



2年生

出前授業でゴムでっぼうを作りました！



3年生

出前授業で手話を教えてもらいました。



4年生

消防署の働きを調べに行きました。



5年生

出前授業でおいしいお茶の入れ方を学びました。



6年生

プラネタリウム見学会に行ってきました。

